

揖斐農林事務所の普及活動状況 令和3年11月26日現在

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■担い手 揖斐地域農業担い手リーダー感謝状贈呈式及び認定証交付式の開催

11月15日に、揖斐総合庁舎にて揖斐地域農業担い手リーダー感謝状贈呈式及び認定証交付式を揖斐農林事務所の主催で開催した。例年は県全体で開催するが、新型コロナウイルス感染症の影響により、各地域で開催することとなった。

今回、指導農業士、青年農業士で1名ずつの計2名の退任があり、感謝状を贈呈した。新たに青年農業士に2名を認定し、認定証を交付した。

地域農業の担い手リーダーの活動や育成に今後も農業普及課は支援を行っていく。



【感謝状贈呈の様子】

■農福連携 揖斐地域連携会議

11月8日に、令和3年度農福連携揖斐地域連携会議を開催した。(有)サポートいびが行っている農福連携における活動の現状や課題について、現地で情報を収集し、その後、検討会を行った。

検討会では、農業経営課就農支援係および農福連携推進室から県内の現状や関係事業について情報を得た後、揖斐管内の取り組みについて情報を共有し、農業者への働きかけについて検討した。

また、今年度から、揖斐特別支援学校および西濃障がい者就業・生活支援センターが連携会議に加わった。今後、福祉サイドと農業サイドの情報共有機能を高め、具体的な活動に繋げていく。



【障がい者の作業の様子を視察】

■揖斐地域就農支援協議会 就農フェア参加

11月13～14日に、JAいび川池田支店主催のフェアに、揖斐地域就農支援協議会が参加し、「食と農に関する何でも相談コーナー」として、新規就農や農産物の栽培、食の安全等について相談を行った。

「直売所に出荷したいがどうしたらよいか」「定年後は農業を始めたい」等、両日で11件の相談があった。

すぐに新規就農につながる相談はなかったものの、揖斐地域就農支援協議会や就農応援隊の活動をPRするよい機会となった。



【相談の様子】

■担い手育成 柿第4回帰農塾 開講！

JAいび川は、11月20日に「第4回柿帰農塾」を実施し、新規栽培者や定年帰農者、後継者等、8名が参加した。

農業普及課から、R3産柿の障害果の発生状況や栽培管理等、新品種の紹介とGAPの取り組み推進に関する講義を行った。現地では、振興会技術部員の指導で柿の収穫、選別を行った。受講者は熱心に研修を受講していた。

今後も農業普及課は、帰農塾の開催について継続支援を実施し、定年帰農者や新規栽培者、後継者の確保・育成支援していく。



【帰農塾の様子】

安心して身近な「ぎふの食」づくり

■ G A P りんご清流 G A P 研修会開催

11月15日に揖斐総合庁舎において、りんご清流 G A P 研修会を開催した。

G A Pは、「良い農業の実践」が直訳となるが、東京オリパラの食材提供には、国際水準 G A P の認証が必要となったことで話題となった。揖斐郡では、茶などでの A S I A G A P や J G A P の先進的な取り組みは早かったが、R 2 年 11 月に策定された、りんご清流 G A P 評価制度については、まだ申請が行われていない。今回の研修会では、りんご清流 G A P 推進センターに講師を依頼し、制度について改めて説明を受けた。

りんご清流 G A P は、評価点数に応じて評価証書の発行やロゴマークの使用ができること、農場評価を受けた後も、是正の機会が設定されており、是正により再評価が可能なのが特徴となっている。

揖斐管内では、今年度数件の申請が予定されており、農業普及課では、G A P 取り組みの支援を引き続き行う。



【研修会の様子】

りんご農畜水産物のブランド展開

■ いちご 組合員ほ場巡回及び研修会の実施

揖斐地域では例年 11 月下旬にいちごの出荷を迎えることから、各組合において組合員のいちご生育状況や出荷開始時期の確認を行うため、11月9日と、11月12日に大野町と揖斐川町では場巡回研修会を行った。

当日は各組合員のほ場を見学し、本ぼの生育状況や収穫開始時期の確認などを行い、その後、栽培管理の研修会を実施した。ほ場巡回には、試験場の研究員や市場関係者も参加した。また、組合員同士も栽培方法や施設管理、販売などの幅広い情報について意見交換を行い、大変有意義なものとなった。

当地域でも 11 月 3 日に初出荷が行われ、本格的な出荷シーズンに突入した。農業普及課では、今後も部会活動を通じた支援を行い、産地の拡大や発展につなげていきたい。



【現地巡回の様子】

■ 茶 関西茶業振興大会功労者表彰

11月6日に奈良県コンベンションセンターにて関西茶業振興大会奈良県大会が開催された。

当管内から、関西茶業功労者として、1名の生産者が表彰された。

茶業に対して、管内のみならず、関西地域における長年の功績は非常に大きく、今回の表彰となった。

今後も産地のため尽力していきたいという受賞者の思いを農業普及課は支援していく。



【表彰の様子】